

サークル 住民活動 紹介

愛荘町観光ボランティアガイド協会

「愛荘町観光ボランティアガイド協会」は、会員8名、オブザーバー3名の11名で構成し、愛荘町の観光案内を行っています。

我々の古里は、「依智秦公」が古代から連綿として拓かれ、先取的な「農耕文化」、「製鉄技術」、「土木灌漑技術」、「養蚕技術」、「機織り技術」、「醸造技術」及び「仏教文化」等幅広く高度な文明を伝え、古代における政治・経済・文化の進展に寄与されたと考えられています。

町内には、「依智秦公」が残された多くの遺跡・遺物が有り、古墳、白鳳時代の寺院跡（蚊野塔の塚、目加田、香之庄妙園寺、野々目、畑田）、仏像及び石造遺品等多岐に渡っていますが、現在その殆どが人々の意識から忘れ去られています。

また、町内には色々な匠の技術（醸造、製織、木工、楽器製造、金工、漆塗、金箔押、食品加工業等）多くの技術が伝承されています。

当協会は、これら隠れた遺産を紹介するため「依智秦公」の遺跡を縦糸に、匠の技を横糸にして、年2回「歴史散歩」として、春と秋にウォーキングを開催しています。町内はもとより他の市町村から毎回、30名〜40名近くの参加者が有り、小学生〜シニア迄6km〜8kmを歩き、ガイドの説明に対して、活発な

質疑応答が有ります。

今後は、町内の「小学生」、「中学生」を対象として、「我が古里の歴史」を伝えて行きたいと思っています。

町民の皆さまのご協力宜しくお願い致します。

会長 北村 耕二



2017.5.21.(日) 目加田廃寺跡の説明

編集後記

70歳を過ぎてから毎年夏に一度は県外の山に登っている。御嶽山に三度、スケールの大きい山である。噴火後は頂上までは入れない。9合目で合掌。

今まで単独行であったが、万一を考えると昨年から孫に同行を頼んでいる。昨年は、木曾駒・宝剣岳、今年は8月1日に富士山に登った。

年々体力の衰えを感じるが、家では「もうよい加減年齢を考えや」と頭から言われるのでいわないことにしている。

お蔭様で、心身ともに健康である。が、あと何年かと疑問符がつく。これからの人生で今が一番若い。自分で定年を決めず、今を精一杯生き、今までにいたいたいことへのお返しをするときだと思っている。

サムエル・ウルマンの「青春」より

「人間は情熱と好奇心をたやさなければ、そのひとは常に青春である。」

西澤 桂一 記

【発行責任者】

議長 外川 善正

【広報常任委員会】

委員長 西澤 桂一

副委員長 上林 村治

委員 徳田 文治

委員 河村 善一

委員 小杉 和子

委員 瀧 すみ江